

# 党 情 報 告

幹事長 安 田 優 子

本日、平井伸治鳥取県知事はじめ来賓各位のご臨席を賜り、第63回自由民主党鳥取県支部連合会定期大会を開催しましたところ、ご多用中にもかかわらず、代議員多数のご出席を得て盛大に開催できますことをまずもって厚くお礼申し上げます。

さて、昨年5月27日倉吉市において開催されました第62回定期大会以降を中心に、党情をご報告申し上げます。

第48回衆議院議員総選挙についてご報告いたします。

わが党は、「この国を、守り抜く。」をスローガンに選挙戦を戦い、284議席の安定過半数を獲得し、圧倒的な勝利を収めました。わが県におきましては、鳥取1区の石破茂候補が得票率83.63%という圧勝、鳥取2区の赤沢亮正候補が2位候補に2万票近い大差をつけて勝利と、圧倒的な勝利を収めさせていただきました。これもひとえに皆様方のご支援とご尽力の賜物と、改めまして心よりお礼申し上げます。石破衆議院議員、赤沢衆議院議員両議員におかれましては、今後ますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げる次第であります。

鳥取県連の動きについてご報告いたします。

初めに、組織状況及び組織活動についてご報告いたします。

平成29年の党員数は9,885人で、前年に比べ、地域支部で660人、職域支部で118人、全体で778人の増加となりました。

地域支部党員数の増加につきましては、選挙区支部が新規党員の獲得を積極的に進められたことや県議会議員、支部長の方々に、さらなる党勢拡大を進めていただいた結果であり、感謝申し上げます。

また、職域支部党員数の増加につきましては、参議院選挙区第1支部で多くの方に党員になっていただいたことや昨年11月20日に鳥取光和支部が設立されましたことなどによるものであり、関係各位のご尽力とご努力に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、引き続き、党勢の拡大にご尽力いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

党員獲得運動につきましては、党本部の「120万党員獲得運動推進要綱」に基づいて、地域・職域を問わず各小選挙区内に4,000名以上の党員を確保すること、また、衆・参国会議員には、個人の獲得党員として1,000名以上の党員を確保することが義務付けられて

います。平成29年においては、別添のとおり、一区(石破支部長)の選挙区内党員は5,571人、二区(赤沢支部長)は4,375人であり、一区、二区ともに党員が義務数を超過しており、また、国会議員個人の獲得党員は、石破議員が1,582人、赤沢議員が1,040人、舞立議員が1,101人であり、全ての議員とも1,000人を超えています。

一方、県議会議員の党員獲得義務数は100人以上であります。平成27年の統一地方選挙で新たに県議会議員に当選された方など一部に達成されていない者がいます。今後、早急に達成されますようご指示申し上げる次第です。

言うまでもなく、党組織の基盤は党員であります。本年は、全国的な党員獲得運動に合わせて、新規党員の獲得と継続党員の確保に努め、何としても党員を増やしてまいりたいと考えておりますので、皆様のさらなるご尽力とご協力を切にお願い申し上げます。

また、党友の国民政治協会鳥取県支部会員は304人、自由国民会議会員は46人で、ともにわが党の健全運営を支え、多大な貢献をいただいております。ここに厚くお礼申し上げますとともに、会員の継続及び新規会員の加入促進につきまして、皆様方のなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組織活動についてご報告申し上げます。

本年度、新たに、地方政治学校「女星塾とっとり」を設置し、本年4月21日、21名の塾生により開講式を行いました。今後とも、新たな支持層の拡大、女性の社会進出などに繋がるよう活動してまいります。

本年3月9日・10日の両日、党本部において「中央研修会」を開催いたしました。本年は、県連、青年部・局、女性局共催のもと76名の参加を得て盛大に開催しました。石破茂会長、赤沢亮正衆議院議員、青木一彦・舞立昇治両参議院議員にご挨拶をいただくとともに、講師に、後藤田正純元内閣府副大臣、高市早苗前総務大臣、中谷元元防衛大臣をお迎えし、地域活性化のための方策、サイバーセキュリティ対策、そして国内外の厳しい政治情勢への対応等についてご講演いただき、大変有意義な研修会となりました。

青年部・青年局、女性局活動では、昨年6月10日に山下貴司衆議院議員をお迎えして、青年部・青年局・女性局合同大会を倉吉市で開催しました。

また、青年部・青年局では、本年4月14日に、全国一斉街頭行動の一環として、18歳選挙権と憲法改正について、街頭活動を行いました。また、昨年6月11日に中海・宍道湖一斉清掃、昨年9月10日と本年4月15日に鳥取砂丘一斉清掃に参加するなど、地域で活動する姿勢を多くの皆さんと共有しました。

女性局では、4月21日に、「いどばたキャラバン in 鳥取」を開催し、党本部女性局長

おたふさえ

太田房江参議院議員を講師にお迎えして、女性活躍に繋がる施策について意見交換を行うとともに、これらの議論を踏まえて、党本部などに政策提言をすることとしました。

さらに、鳥取県各種女性団体協議会や鳥取県女性議員連盟などの友好団体との連携を強める活動を推進しました。

今後とも、新たな支持層の拡大、女性の社会進出などに繋がるよう活動してまいります。特に、選挙権が「18歳以上」に引き下げられたことに伴って、若い有権者への訴えが重要であり、青年部・青年局、女性局活動をより一層活発にしていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

次に政務調査活動についてご報告いたします。

毎年開催しております「県政に要望する会」を、県内全域の合計8市郡町単位で開催し、各市町村及び自民党各支部から要望を聞き取り、県政運営に反映するとともに、国政課題については国会議員に要請するなどきめ細かな活動を展開いたしました。

また、昨年度の県連大会において、河野太郎衆議院議員に「日本のエネルギー戦略」と題して講演していただきました。

次に、広報活動についてご報告いたします。

党本部発行のポスター、各種政策パンフレットやビラを活用した活動を積極的に展開するとともに、女性局を中心として女性誌「りぶる」の購読拡販に努めてまいりました。

また、県連ホームページをリニューアルし、県連の活動等を広く宣伝してまいりました。次に県民運動活動についてご報告いたします。

昨年6月4日に、全国一斉街頭行動に合わせて、県内3か所で、北朝鮮による拉致問題の解決、憲法改正の必要性を訴えました。

さらに、平成28年4月に発生した「平成28年熊本地震」、そして平成28年10月に発生した「鳥取中部地震」の被災地の皆様への募金活動などを展開しました。

また、本年4月14日に、「台湾花蓮地震」の被災地の皆様への募金活動も行いました。参議院議員選挙に係る合区の解消についてご報告いたします。

平成28年7月に執行された第24回参議院議員通常選挙は、平成27年7月に可決成立した公職選挙法により、憲政史上初めて県を越えて1の選挙区とする「合区」のもとでの選挙となり、結果として、本県は、全国で唯一県代表を出すことのできない県となりました。

この選挙では、有権者が候補者の政策を直接聞く機会が非常に少なくなったとの多くの声をお聞きしましたし、投票率は過去最低となり、有権者の選挙離れが一層進むことが懸念される結果となりました。

鳥取県連は、この合区について、当初から一貫して反対の意思を明確に示しております

し、改正公職選挙法の附則に盛り込まれているとおり、来年行われる参議院議員選挙に向けて、憲法改正を含む抜本的な見直しを行うよう取り組んでまいりました。

昨年6月自民党の合区解消問題プロジェクトチーム及び参議院在り方検討プロジェクトチームが提言をとりまとめられたことから、昨年8月29日に、合区4県連幹事長の呼びかけにより、全国15県連で「合区の解消に係る合同県連幹事長会議」を開催し、党本部に申入れを行うなどの事項を決定しました。この会議の審議結果を踏まえ、9月30日に、新たに合区となることが懸念される5県も含めた20県連の幹事長の連名により、二階俊博幹事長に「合区の解消に係る申入れ」を行いました。

このなかで、①憲法改正を含む具体的な合区解消策やその行程等を早急に示すこと、②地方6団体等と連携しつつ、積極的に全国的な世論喚起を図ること、③より多くの都道府県議会及び市区町村議会において合区解消の意見書の採択等を要請することの3項目を申し入れました。

この申入れを受けて、党本部においては、地方6団体と連携して、4月27日に、地方自治確立対策協議会(地方6団体)の主催による「早期の合区解消促進大会」が、開催されました。また、全国35県で合区解消に係る意見書が採択されております。

さらに、本年3月17日高知市において、合区4県連幹事長会議を開催し、党本部に対し、合区の解消を求めて意見を表明することとし、3月24日の全国幹事長会議において、4県連を代表して、高知県連幹事長が意見を述べました。

次に、本年3月25日開催の第85回党大会において、総裁表彰・感謝状をお受けになりました優秀党员、優秀支部並びに友好団体、協力者の皆様についてご披露申し上げます。

まず、優秀党员として、<sup>ひろおかすむ</sup>廣岡進氏、<sup>きむらひとみ</sup>木村瞳氏、<sup>いのうえともひろ</sup>井上智博氏、<sup>たにくちてるお</sup>谷口輝雄氏の4名の方々、優秀支部として、<sup>さじちょう</sup>佐治町支部、<sup>ごせんごく</sup>米子市五千石支部の2支部が受賞され、友好団体として、<sup>おかむらのりお</sup>鳥取県郵政政治連盟、協力者として、岡村則男氏、それぞれの方々に感謝状が贈呈されました。栄えある受賞を心からお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

また、本日、県連会長から表彰をお受けになられました党员功労者及び優秀支部の皆様は、いずれも永年にわたり党勢拡大と党员獲得につつまして献身的なご努力とご尽力をいただいた方々であります。本日の受賞を心よりお祝い申し上げますとともに、今後とも自民党鳥取県連の発展のため、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に各級地方選挙の対応についてご報告申し上げます。

昨年10月1日に施行されました倉吉市議会議員選挙において、現職の<sup>ふくたになおみ</sup>福谷直美氏から公認申請が提出されました。これを受けて、6月30日の選挙対策委員会において、公認

候補と決定しました。結果、見事当選されました。

また、本年1月28日に告示された境港市議会議員選挙において、現職の佐名木知信氏、<sup>あら いひでゆき</sup>荒井秀行氏、<sup>ばまだよしひさ</sup>濱田佳尚氏から公認申請が提出されました。これを受けて、昨年12月21日に選挙対策委員会を開催し、3氏とも公認候補と決定しました。選挙は無投票となり、当選を果たされました。

さらに、本年3月25日に施行されました鳥取市長選挙において、現職の<sup>ふかざわよしひこ</sup>深澤義彦氏から推薦申請が提出され、12月21日の選挙対策委員会で、推薦候補と決定しました。結果、見事当選されました。

本年6月24日に施行予定の米子市議会議員選挙において、<sup>いわさきやすろう</sup>岩崎康朗氏、<sup>おかだけいすけ</sup>岡田啓介氏、<sup>みかもひでふみ</sup>三嶋秀文氏から公認申請が提出されました。これを受けて、3月22日に選挙対策委員会を開催し、3氏とも公認候補と決定しました。当選を果たされますよう祈念いたしております。

最後をお願いを申し上げます。

来年は、統一地方選挙と参議院議員選挙が行われる年であります。

わが党は、平成26年及び昨年の衆議院議員総選挙、一昨年の参議院議員通常選挙において、党员・党友の皆様のご尽力により勝利を収めることができました。引き続き、さらなる党勢拡大に向けて邁進する所存でありますので、皆様には、各地域におきましてわが党への積極的なご支持とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

これらの選挙は、わが党が進めてきた様々な改革をさらに前に進めるため、より安定した政治基盤を固める選挙であり、将来の発展に向かって進めるための重要な戦いでありま。党組織の総力を結集して邁進したいと存じますので、党员・党友の皆様の大きな力添えを賜りますことを切にお願い申し上げます。

終わりに、党员・党友の皆様の方強い党活動に対しまして、重ねて厚くお礼申し上げますとともに、今後とも特段のご支援、ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。党情報報告といたします。